

15	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15106003	超高精度 X 線ミラー作製による高分解能硬 X 線顕微鏡の開発	山内 和人 (大阪大学・大学院工学研究科・教授)	A+
<p>(意見等)</p> <p>硬 X 線を Sub-50nm に集光するための非球面 X 線ミラーを製作、評価する技術を開発し、超高分解能の硬 X 線顕微鏡システムの開発、開発した硬 X 線顕微鏡システムを医学・生物学の分野に応用した点は高く評価され、当初の目標を上回る研究成果をあげている。</p> <p>本開発は X 線光学の分野で大きな貢献をしたといえるが、シンクロトン放射光施設においては分野の異なる多様な研究がなされていることもあり、今後開発したシステムの多方面での応用を期待したい。</p>				
16	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14102016	剪断力の働く気液界面を通してのスカラー輸送機構の解明と輸送量の評価 – 流体力学でしか出来ない大気・海洋間の炭酸ガス及び熱の交換量の正確な評価 –	小森 悟 (京都大学・大学院工学研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然界の気液界面現象を実験室レベルで取り扱い、その結果を数値計算で精度良く表現する事に成功し、概ね所期の目的を達成し、研究の進展があった点を高く評価する。 2. 今後、現実の場に於ける実験の展開と素のシミュレーションを行う事が期待される。 				